

スマホ対応！ 800G-X, 500G-X, 450G-X

仕様

800G-X
縮長 470mm
全高 1,540mm
EVスライド 315mm
質量 765g

500G-X
縮長 405mm
全高 1,220mm
EVスライド 230mm
質量 695g

450G-X
縮長 320mm
全高 925mm
EVスライド 305mm
質量 605g

ケース付

取扱説明書

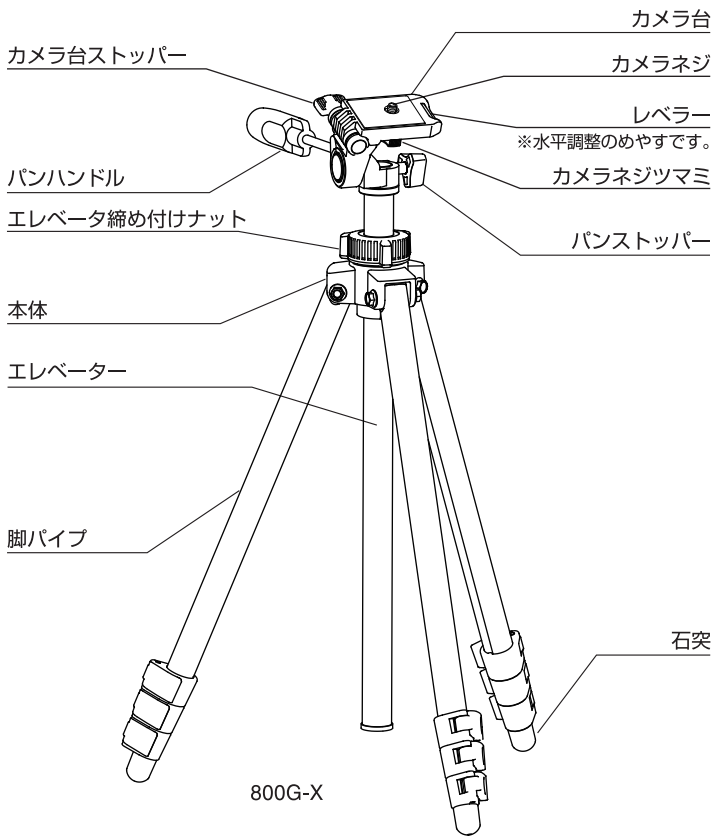
このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

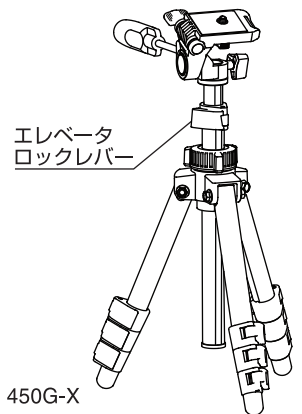
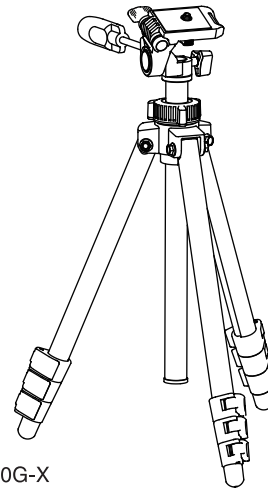
🚫 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。説明にしたい事故のないようお使いください。

V299

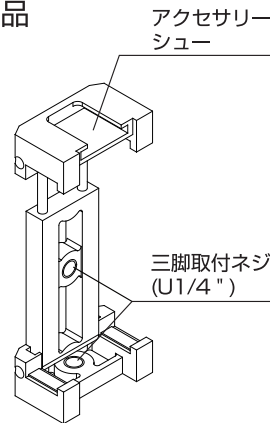
各部名称



※三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。



付属品



スマートフォンホルダー

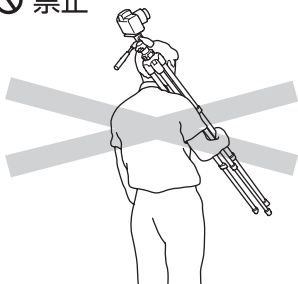
搭載する機材

🚫 禁止

この製品は、1kg位までの機材を載せるように作られています。これ以上の機材は載せないでください。
また、1kg以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

持ち運びのとき

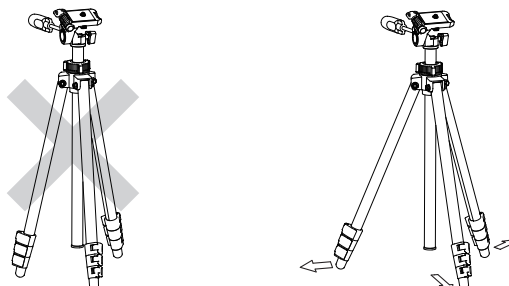
🚫 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

機材の取り付けとセットアップ

⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実にを行い、3本の脚を十分に開いて落下や転倒を防いでください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

使用可能な

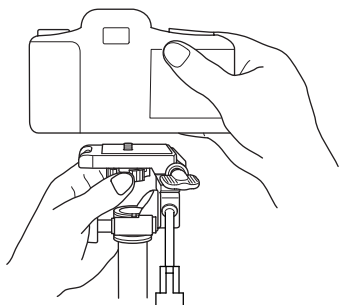
スマートフォンサイズ

⚠ 注意

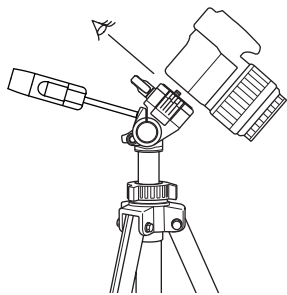
幅 : 60mm ~ 90mm
厚さ : 12mm 以内

スマートフォンや外装ケースの形状によっては、上記寸法内でも確実な取り付けができない場合があります。

カメラの取り付け方

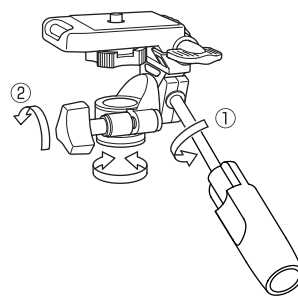


カメラ台を片手で支えながらカメラネジツマミをしっかりと締め込みます。機材の取り付けが完了するまで、機材はしっかりと保持してください。



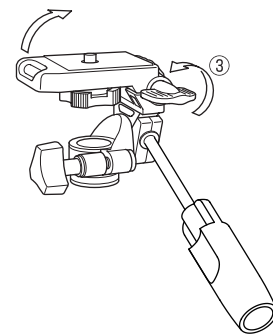
この時カメラ台を傾けてカメラネジ部が見えるようにすると取り付けがらくです。

雲台の使い方



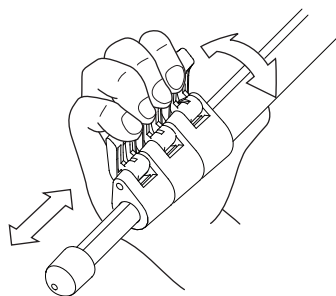
①パンハンドルをゆるめるとティルト(前後回転)します。

②パンストッパーをゆるめるとパン(水平回転)します。



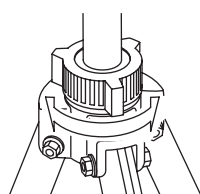
③カメラ台ストッパーをゆるめるとカメラ台を縦位置にすることができます。(90°)

脚の伸ばし方



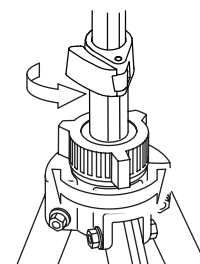
レバーを開くとパイプは伸縮できます。希望の位置でレバーをしっかりとロックしてください。太いパイプを優先してご使用になるとグラつきが少なくなります。

エレベーターの使い方



800G-X・500G-X

エレベータ締め付けナットをゆるめエレベータを引き出します。希望の高さを出してしっかりと締め付けます。

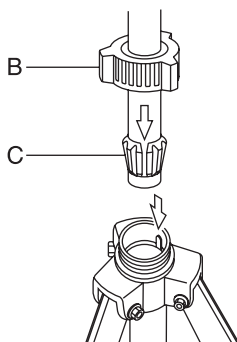


450G-X

450G-Xは、2段階エレベータを採用しています。エレベータロックレバーをゆるめることにより、細いエレベータをさらに引き出せます。

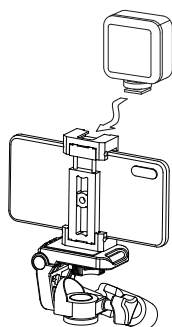
エレベーターの使い方(つづき)

⚠注意



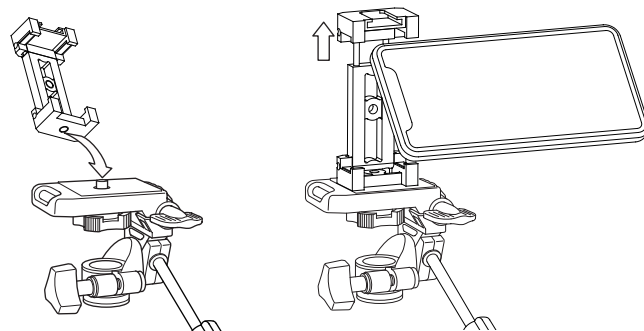
エレベータ締め付けナットBを完全にはずしてしまった時は、エレベータ締め付けリングCの割れを本体の凸起にあわせてからセットします。

アクセサリシュー



アクセサリシューにLEDライトなどを取り付けられます。その際に、機材の重さが最大搭載質量を超えないように注意してください。

スマートフォンの取り付け方



スマートフォンを取り付けるときは、
① 初めに、スマートフォンホルダーの三脚取付ネジを雲台のカメラネジ部に取り付け固定します。
② 次に、スマートフォンホルダーを上へ引きながらスマートフォンを取り付けます。
使用する前にスマートフォンがきちんと取り付けられていることを確認してください。

⊘ 禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。
インターネット・ホームページ
<http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2019 SLIK CORPORATION